大学名	筑波大学（附属病院）
表題	地域医療教育センター等の設置による 茨城県内全ての医療圏における地域医療提供体制の構築と人材育成

第56号テーマ
「地域医療」

取材対応者（予定）　特色ある取組

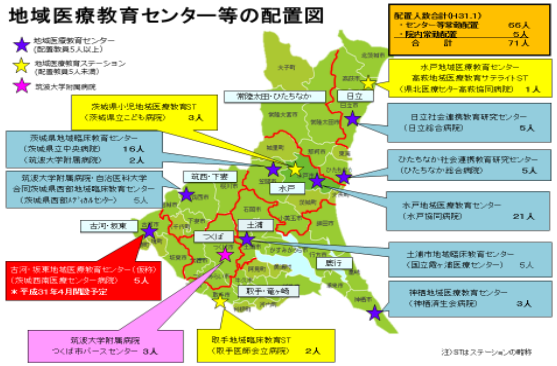
医学医療系　渡邉　重行教授

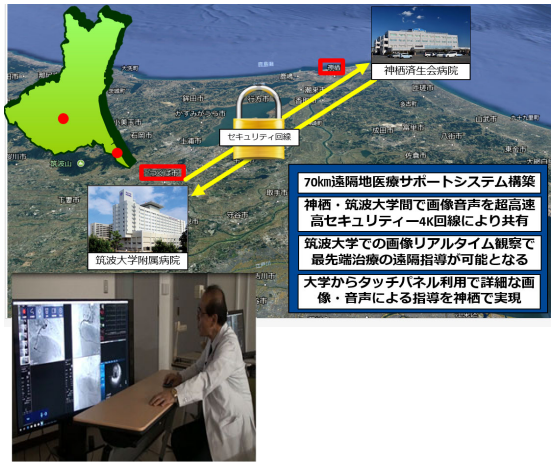
茨城県内の各二次医療圏（9箇所）に各々所在する中核的医療機関内に「地域医療教育センター等」を設置し、常勤教員70人を配置して大学病院の教育資源やノウハウを集中的に投下し、学生等の教育拠点の場、臨床医・臨床研究者等の地域医療を担う人材育成の場及び診療の場としての機能強化を通じて地域医療提供体制の質的向上に貢献しています。

2017年9月より、地域医療教育センター設置病院と連携して「映像配信システムによる循環器疾患の遠隔治療指導」を開始し、若手・中堅医師が地域で高度先端医療を実践できる体制を構築しました。

医学類　6年　海老原さん

医学部の4年生時に、筑波大学の地域医療教育センターが設置されている水戸協同病院で臨床実習を行いました。同院は、地域医療教育センターの教員の先生を始め、病院全体が学生、研修医の教育に積極的であり、かつ地域医療を支えているという意気込みを感じる活気のある病院でした。ぜひ臨床研修もこの病院で行いたいと考え、マッチングにて来春の採用が決定しました。私は茨城県の地域枠で入学しており、将来的に茨城県の医療を支えられる人材になりたいと考えていますが、このような臨床のみではなく教育も充実した病院で研修することが出来ることを嬉しく思っています。





上記取組による成果・評価　など

平成16年度から導入された医師臨床研修マッチングにおいて都市部集中及び大学病院離れが社会的問題となっている中で、国立大学病院のマッチング数で常時上位10番以内をキープするとともに平成30年度の73人は国公私立121大学病院中3番目、自大学出身者数36人も国公私立121大学病院中17番目であった。
また、筑波大学附属病院地域医療教育センター等を開設している5医療機関でも28人マッチングしており、本院のマッチングと合計した101人は茨城県全体のマッチング169人の約60%を占め、県内外の学生からも高い評価を得ている。

参考URL

・地域医療教育センター・ステーションHP

http://www.hosp.Tsukuba.ac.jp/chiiki/

・医員等募集要項

http://www.hosp.Tsukuba.ac.jp/sotsugo/